

ヤング防犯 ボランティア発足

安全で安心して暮らせる社会づくりをめざし、高校生にも防犯意識を高めてもらおうと、行方警察署は7月21日、市内の高校生（麻生・潮来・玉造工業高校）35人を「ヤング防犯ボランティア」に委嘱しました。

発足後初めての活動として、玉造地区のショッピングセンター「ベイシア」前で行われた防犯と交通安全を呼び掛ける「安全なまちづくりキャンペーン」で、買い物客やドライバーに啓発グッズを配り、防犯対策などを呼び掛けました。



今年の春、東京のデパートに、玉造西小学校4年生、鈴木ちひろさんの作品が展示されました。

ちひろさんの作品は、昨年度3年生のときに茨城県の発明工夫展で特賞11点に選ばれ、3月の全日本学生児童発明工夫展では、特別賞14点に次ぐ、奨励賞20点の一つに選ばれました。

「ゴムをかけるところを鯨の潮吹きに見立てました。ゴムが何本あっても1本ずつからまないで取ることができます。絵や工作が大好きなちひろさんのかわいらしい作品です。」

「ゴム取り名人」全日本学生 児童発明工夫展「奨励賞」受賞

緑ヶ丘区三世代 交流事業を開催

7月23日（日）、榎本農民研修センターを会場に緑ヶ丘区主催による三世代交流事業が開催されました。

今回の交流会は、小・中学生の夏休みを利用し子ども会を中心に、女性地域グループ・老人クラブの参加により、安心で安全な支えあいの地域をめざし「地域で顔の見える集落づくり」を目的に開催されました。

この日は、100歳を迎える喜古ハツヨさんの誕生会を兼ね、子どもたちも料理に加わったりレクリエーションをしたり、笑いの耐えない緑ヶ丘の一日となりました。



西蓮寺の山百合の里で、7月21日から30日の10日間、山百合まつりが開催されました。

山百合の里は、住民による「山百合の会」（関野とよ子会長）がボランティアで整備しています。毎年、地元の人をはじめ、県外からも多くの人が訪れていきます。

23日にはコンサートが開かれ、約2万本の山百合の甘い香りが漂う中、野口嘉広さんによるオカリナの音色や、森田妃加允さんの歌声、が山百合の里に響きわたりました。

ふるさと 山百合まつり